

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第91号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

新たな全国的「異業種連携」活動方針の模索

芝 忠

全国の異業種交流団体連合会（財中小企業異業種交流財団）が5月末に解散することを4月27日の理事会・評議員会で決定しました。6月から清算法人に移行し、9月末に消滅しますが、後継の組織づくりを巡って各県の有力幹部が尽力しています。懸案事項である財団の残余基本財産、約7千万円の活用について、現財団が（財）中小企業総合研究機構に寄付するとともに、同機構は異業種交流財団の後継組織に毎年、一定額を配分するなどの優先的活用を約束しました。そして後継組織は「**一般社団法人 全国異業種連携協議会（仮称）**」を9月までに設立することなどが決まりました。

この新しい組織づくりに協力をするよう、筆者も依頼されております。新組織のリーダーとして南出議長の名前も挙がっております。神奈川異グ連としては大きな試練です。今から25年前、現財団の結成前の組織づくりを巡って、発起人グループと神奈川異グ連と意見の相違が発生、新組織の副会長に予定されていた菅野初代議長が辞任を迫られるという一幕がありました。その後、情勢の変化の中で南出議長が理事、筆者が評議員に委嘱され、異業種交流財団の諸活動に協力をしてきたところですが、財団解散後の新組織の重要な役割を神奈川異グ連が引き受けるということは、思ってもいなかったことで、事務局態勢の強化が必要です。

ただ、異業種交流あるいは異業種連携の活動（以下、『異業種連携』と表現）の中で、まんでんプロジェクトや、サロン事業、産学連携活動、国際交流、地域密着型社会活動その他の局面で、異グ連が相当頑張っているということは、全国的に見ても一定の評価がいただけることだと思います。

そういう意味では、**全国的な『異業種連携』**について、これまでの財団活動を見直しして、各県の地域連携が発展、強化する方向での新たな視点が必要と思います。全国の協議会数が最高時の30数県から26県まで落ち込んでいます。もともと中小企業は他社との連携の中でこそ発展、成長するわけですから、**全国的な『異業種連携』の必要性**は言うまでもありません。問題は、そのニーズを組織化に十分、持っていくことが出来なかった要因の分析が必要です。本県も、組織勢力的にはそんなに自慢出来る状況ではありませんが、多面的な分野の活動は評価されて良いと思います。

従って、**県同士の連携を強化し、広域ネットワークのメリットを発揮出来る活動方針を模索し、全国組織の必要性や成果を明確にすることだと思います。**神奈川異グ連傘下の「まんでんプロジェクト」や「NPOお葬式情報案内センター」はこれ自体が全国展開しております。もし各県の協議会がより強力に支援してくれれば、新しい局面が生まれると思います。産学連携ネットワークも、全国的な『異業種連携』とのドッキングにより、また新たな発展が可能です。京都の「京都試作ネット」の情報交流の対象を、全国の新組織と連結させれば大きなものづくりネットワークに発展します。東京の大田区や神奈川との連携が大変重要と思います。

産学官交流サロンのコーナー

第38回三浦半島経済人サロンの開催案内

日 時：H22年05月20日（木）18：00～20：30（17：30開場）

場 所：神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 参加費：1000円

1、18:00～19:00 テーマ：「**中小企業振興条例の狙い目**」

神奈川県異業種グループ連絡会議・専務理事 関東学院大学 非常勤講師 芝 忠氏

2、19:00～20:00 上記テーマについての意見交換と、皆様からの情報発信も歓迎します。

申 込：異グ連事務局・八幡敬和 045-633-5142 防衛大学名誉教授・鶴野省三 046-836-6785

第27回「西湘サロン」の開催案内

日 時：H22年06月14日（月）18：00～21：00

場 所：あいおい損保小田原支社（瀬戸ビル）3F 参加費：1000円（ビール、おつまみ付）

1、講演：「ミウラ折り」で商品展開を図る～保管率100%、捨てられないPRツール～

株式会社 miura-ori lab 代表取締役社長 あひこ ゆみ氏
ぱっと開く・閉じる“ミウラ折り”、東大名誉教授・宇宙構造工学博士 三浦公亮氏が人工衛星のパネル展開のために考案された特殊な折り方で、観光地案内、路線図、東京マラソンコースマップ等に採用されています。

2、テーブルディスカッション（ビールつまみで自由討論を行います）

申 込：異グ連事務局（島津、吉池、芝） 045-633-5142 fax045-633-5194

第26回（5月10日）西湘サロンの報告

吉池正樹

今回は地域の中小企業政策について、公的立場から次のお二人の方にお話ししていただきました。

- この3月まで小田原市経済部産業政策課におられた原田泰隆氏のお話は「**小田原市における地域経済活性化への取組**」についての苦労話や楽しいお話です。小田原市は人口約20万人、鉄道5路線が集中し、近隣都市を商圏とする特徴を生かすため、**小田原おでんサミット**（集荷約13万人）、**北条五代まつり**（集客17万人）等々のイベントや**小田原蒲鉾**、**小田原漆器**、**木工製品**等々の名産品・特産品で集客を図っているそうです。最近のヒットはマスコミでも有名になった、こだわりの「**小田原ドン**」や特産の寄木細工で作り、これを持っているといろいろなサービスが受けられる「**小田原手形**」等があり、これがきっかけで、今秋、「**第2回全国丼サミット**」を小田原で開催する予定だそうです。（原田氏は4月より水産海浜課課長としてご活躍されています。）
- 同様に、この3月まで神奈川県西湘地域県政総合センター商工労働部商工観光課におられた勝又茂徳氏の「**地域への出前相談事業からみた将来像**」についてのお話です。出前相談はセンターに相談に行きたいけれど、忙しくて行けないという社長の所へセンターから出向いて相談に乗るという制度です。西湘センターでは年間50社以上を実施目標とし、農商工連携の出前相談も行っています。ご相談のある方は是非声をかけてくださいとのことです。（勝又氏は4月より神奈川県小田原土木事務所許認可指導課副主幹としてご活躍されております。）

おなじみ尾上町サロン（ぶらり参加大歓迎！！）

日 時：原則第一・三金曜日（05月21日、06月04日、18日）17:15～19:30

場 所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務局

話 題：自由に持ちより（テーマの事前予約OK）

問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142

参加費：1000円（現物も大歓迎）

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**シフト21**【<http://www.shift21.jp/>】

有村知里

5月定例会は「**効果的なDMとテレマーケティング**」について、傳芳代表・株式会社 エコハンズの平沼芳子様にお話をお伺いいたしました。①読んでもらえるDM、ごみ箱直行のDM、②パンフレットにかけた費用を無駄にしない、③DM発送と電話のタイミングなど、営業のポイントとコツが満載のセミナーになりました。

6月定例会は**6月8日（火）18時30分～**かながわ県民センターにて、「**健康へのプロセス～幸せを呼ぶラッキーカラー～**」のテーマで株式会社生命情報研究所の堀智一氏にお伺いいたします。①**病気じゃないけど不健康？** ②**体質を知ろう！** ③**毎日の食事で体質が変わる！**④**体質チェックと健康法**など、経営者と社員の健康づくりの基本をお伺いします。（株）生命情報研究所URL <http://www.ciel-de-marie.com/>

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎（初回参加は無料）。お問合せは有村まで。（arimura-c@nifty.com）

第106回日韓ビジネス協議会（総会）報告

高橋導徳

○第一号議案～第四号議案まで特に問題もなく、満場一致で承認されました。

○特別講演：「韓国企業との提携形態の紹介」（有）オリエントマシン 取締役 平手 陽介氏

韓国の企業間連携、韓国との取引のプロセスなど、及びベトナム視察の報告も交えて紹介いただいた。

第107回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳

日 時：2010年05月26日(水) 15:00~17:15 懇親会17:30~18:15

場 所：神奈川中小企業センタービル5階会議室

懇親会は「だんまや水産」桜木町店

内 容：1、特別講演：「不況下に頑張る中小企業」 神奈川異グ連・理事 瀧澤 清氏

2、韓国企業紹介 KOTORA 東京輸出インキュベーションセンター入居企業 (株)GTT 次長 羅敬熹氏

3、日本企業紹介 (株)アークローバー 代表取締役社長 新條 勝蔵氏

4、Purism 島田の紹介 メンタルライフプロデューサー Purism 代表 島田 弘一氏

関心がある企業の参加者を歓迎致します。申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp**まんでんプロジェクト**

千田泰弘

- 4月16日、新潟大学 TLO から地域イノベーション創出事業に対し「**環境対応型先進無人飛行機 (UAV) 用ジェットエンジンの開発**」プロジェクトを提案したが、JASPAはこのプロジェクトにアドバイザーとして参加している。
- JASPAが昨年1年間に亘って徳島県ニュービジネス協議会、長野県ニュービジネス協議会などと検討を進めてきた「光応用研究会」がそのテーマの絞込みを終え、今年度から開発のFS段階に入ることとなった。
- 4月14日~17日にインテックス大阪にて開催された「インターモールド2010」にまんでんプロジェクト参加企業15社が出展した。まんでんプロジェクトは、航空機、自動車部品協力団体として特設コーナーに展示し、併設されたプレゼンテーションでは、湘南デザイン、まんでんプロジェクト、JASPAからそれぞれ発表があった。入場者総数は3万人であり、大変盛況であった。
- チェコスロバキアの航空宇宙コンソーシアムと JASPA/まんでんプロジェクトの間の国際連携を推進する為の覚書(MOU)がまとまり、JASPAとチェココンソーシアムの間で5月25日に東京にて調印を行なうこととなった。なお、この日は日本政府(jetro)とチェコ政府の共同で東京にてチェコ日本技術デーが開催され、セミナーが開かれる。

NPO日本スターリングエンジン普及協会**2010地球温暖化防止展(第2回)へ出展**

会期：H22年5月25日(火)~28日(金)

会場：東京ビッグサイト第一~第六ホール

課題への挑戦：

- ①□製造コストの低減への挑戦
- ② 多種熱源に対応する加熱部の製作への挑戦

出展機器：

(株)プロマテリアルのPM300C(MOMOSEエンジン)
及び 新形式外燃機関 KAIHO エンジン**ぜひご来場ください!!****C&Sグループ2010年新役員**

H22年4月18日2010年総会にて選出。

会 長：魚崎誠也(留任)

副会長(ビジネス担当)：小林 巽(留任)

(イベント担当)：松井利夫(留任)

事務局長：指方順一郎

会 計：(正)新山光一(留任)、(副)飯島伸博

会計監査：相楽 守

C&S交信：佐藤宏史(留任)、石井君治(留任)

ホームページ：菊池 博(留任)

テクニカルショー：服部昌幸(留任)

各種イベント・お知らせ・募集**第32回工業技術見本市出展受付開始****テクニカルショウヨコハマ2011**

会期：H23年2月2日(水)~4日(金)

会場：パシフィコ横浜展示ホールC・D

主催：(財)神奈川産業振興センター、(社)横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市

分野：ビジネスソリューション、生産、生活・環境、異業種交流、産学公連携 の5分野

詳しい資料をご要求ください!!(財)神奈川産業振興センター・産業貿易部販促課
テクニカルショウ事務局(TEL 045-633-5170,
FAX 045-633-2556)へ会社名、住所、担当者、TEL・
FAX 番号を連絡ください。**第23回先端技術見本市出展募集のご案内****テクノトランスファーinかわさき2010**

会期：H22年7月7日(水)~9日(金)

会場：かながわサイエンスパーク(KSP)

主催：(財)神奈川産業振興センター、神奈川県、川崎市
分野：オフィスビジネスユース、産業機器関連、環境・福祉・防災、企業ネットワーク、産学連携
の5分野**詳しい資料をご要求ください!!**(財)神奈川産業振興センター・産業貿易部販促課
テクノトランスファーinかわさき事務局(TEL
045-633-5170, FAX 045-633-2556)へ会社名、住所、
担当者、TEL・FAX 番号を連絡ください。

～平成22年度高度技術活用研修生募集～ 再掲

機械技術科 (定員25名) : 企業の中核となる機械技術者を育成する研修!!

電子技術科 (定員25名) : エレクトロニクスの基礎技術を必要としている技術者に!!

材料化学科 (定員18名) : 高付加価値製品の開発を担う化学技術者を育成する研修!!

研修期間: 平成22年6月～平成23年3月 研修日数: 約40日 (原則週一日、土・日・祭日は除く)

研修会場: 神奈川県産業技術センター (神奈川県海老名市下今泉705-1)

修了証: 全課程の75%以上を受講した方に神奈川県知事の修了証を授与します。

受講料: 各科とも¥130,000円 (テキスト代、実習費を含む) **募集締め切り: 5月20日まで**、先着順

問合せ・申込み: 神奈川県商工労働部産業人材課 技術力強化支援事業研修事務局 TEL046-235-5610

(通称: 工業技術研修センター) 〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉705-1

在日韓国人向け新聞「友情新聞」報道 (105回日韓ビジネス協議会にて 友情新聞記者・末廣 信氏講演より)

前号の連載1 『“知の衰退”からいかに脱出するか?』大前研一

連載2

「日中韓小学生を対象にした意識調査」2007年日本青少年研究所

将来のためにも頑張りたいか?

	東京	北京	ソウル
	48.0%	74.8%	72.1%

勉強のできる子になりたいか?

	東京	北京	ソウル
	43.1%	78.2%	78.1%

その他、「クラスのリーダーになりたい」「先生に好かれる子になりたい」でも日本は断トツに低い。ただ一つ、日本が抜きこんでいるものがあつた。

テレビを見ながら食事をする

	東京	北京	ソウル
	46.0%	11.8%	11.7%

「日本の道徳教育は韓国に学べ」 武蔵野大学教授 (当時) 杉原誠四郎著

韓国では李朝末期に日本の道徳教育に倣って「修身」の教科書を作っており、日本に併合されて以降、日本と同様の「修身」の教育が行われた。終戦後「修身」は“良き遺産”として継承され、現在「道徳」という名前で小学校一年から中学三年まで、国定教科書を用いて授業が行われている。

一方、日本の戦後教育は「心の教育」たる道徳教育がないがしろにされ、唯物論に基づいた教育がなされている。文部省が昭和33年に特設「道徳の時間」を設置したものの、この「道徳の時間」をどのように進めたらよいか、いまだに明確な指導要領が出来ていない。

「教育なくして立国なし」 世界思想2006年2月号

教育は「国家百年の大計」とされるが、まさに明治以降、政府も国民もそうした精神で教育に臨み、西洋に追い付け追い越せと、ひたすら「坂の上の雲」を目指して来た。

近代日本資本主義の父・渋沢栄一は「論語と算盤は一致しなければならない」とし、少なくとも豊田佐吉、松下幸之助、本田宗一郎、井深大、盛田昭夫等々の「経済大国日本」を築いた人たちには、その「日本資本主義の精神」が息づいていた。

今やその精神を失い、欲望を肥大化させていだけなら当然、国際社会に打ち勝つことは出来まい。経済大国の座から退きつつあるのも無理はない。国際的道義を立て直し「日本資本主義の精神」を蘇らせなくてはならないのではあるまいか。

連載 了

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

【月】 荒 直孝 ③田中弘一 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 (芝 忠) 杉本 明子

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!